

2022年9月28日(水)

渋谷スクランブルスクエア株式会社

**SKY GALLERY EXHIBITION SERIES vol.5の会期とアーティストが決定！**  
**世界の見方を変容させる現代アートチーム「目 [mé]」が**  
**SHIBUYA SKYの展望体験を拡張させる企画展**  
**2023年1月13日(金)から3月24日(金)まで開催**

「渋谷スクランブルスクエア」の14階・45階・46階・屋上に位置する展望施設「SHIBUYA SKY」(以下、本施設)は、「SKY GALLERY EXHIBITION SERIES」と題して、本格的な企画展を定期的で開催しております。

「SKY GALLERY EXHIBITION SERIES」は、本施設のご来場者に、渋谷最高峰の景色を眺めるだけにとどまらず、まだ見ぬ世界への興味を抱かせ、想像力を育てる体験を提供することを目的に開催。「視点を広げる」を共通テーマに、アーティストが本施設を体験したインスピレーションから制作された作品を展開しております。

5回目となる今回は、現代アートチーム「目 [mé]」による企画展(以下、本展)を開催することが決定しました。開催期間は、2023年1月13日(金)から3月24日(金)までとなります。



2023 1.13 — 3.24

SKY GALLERY EXHIBITION SERIES vol.5

「目 [mé]」は、アーティスト荒神明香、ディレクター南川憲二、インストーラー増井宏文を中心とする現代アートチームです。個々の技術や適性を活かすチーム・クリエイションのもと、特定の手法やジャンルにこだわらず展示空間や観客を含めた状況・導線を重視し、果てしなく不確かな現実世界を私たちの実感に引き寄せようとする作品を展開しております。

これまでの代表作に、東京都心の空に巨大な「誰かの顔」を浮かばせたことで話題となったプロジェクト「まさゆめ」(Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13、2019-21年)のほか、個展「たよりない現実、この世界の在りか」(資生堂ギャラリー、2014年)、「Elemental Detection」(さいたまトリエンナーレ 2016)、「景体」(六本木クロッシング 2019 展：つないでみる、森美術館、2019年)、個展「非常にはっきりとわからない」(千葉市美術館、2019年)、個展「ただの世界」(SCAI THE BATHHOUSE、2021年)などがあり、2023年開催予定の「さいたま国際芸術祭 2023」のディレクターを務めることも発表されています。

渋谷最高峰の本施設にて、「目[mé]」だからこそその視点で展開する本展の内容は、追ってご案内を予定しております。楽しみにお待ちしております。

<本件に関する報道関係者さまからのお問合せ先>

渋谷スクランブルスクエア PR 事務局 (株式会社サニーサイドアップ内)

担当：矢野 (080-7934-3745)、金井 (080-7310-0134)、齋藤 (090-6531-6108)

E-mail : scramble\_square\_pr@ssu.co.jp

## 開催概要

■企画名称：SKY GALLERY EXHIBITION SERIES vol.5 「目 [mé]」

■開催期間：2023年1月13日（金）～3月24日（金）

■開催場所：SHIBUYA SKY 46階「SKY GALLERY」

■参加方法：

イベント当日のSHIBUYA SKY 入場チケット、もしくは年間パスポートをお持ちの方は、どなたでもご鑑賞いただけます。入場チケットのご購入について、詳しくは下記サイトをご覧ください。

<https://www.shibuya-scramble-square.com/sky/ticket/>

※SHIBUYA SKY チケットは、事前に入場日時を指定して購入できる「WEB チケット」と、入場当日の窓口にて時間を指定して購入する「当日窓口チケット」がございます。「WEB チケット」は購入日の4週間先の日付まで販売しています

※SHIBUYA SKY チケットは数に限りがございます。希望日時のチケットが完売の場合は購入いただけません

※入場後の滞在時間に制限を設けていませんが、退場後の再入場はできません

## 目 [mé]について

### ■プロフィール

果てしなく不確かな現実世界を、私たちの実感に引き寄せようとする作品を展開している。手法やジャンルにはこだわらず、展示空間や観客を含めた状況、導線を重視。創作方法は、現在の中心メンバー（アーティスト荒神明香、ディレクター南川憲二、インストーラー増井宏文）の個々の特徴を活かしたチーム・クリエイションに取り組み、発想、判断、実現における連携の精度や、精神的な創作意識の共有を高める関係を模索しながら活動している。

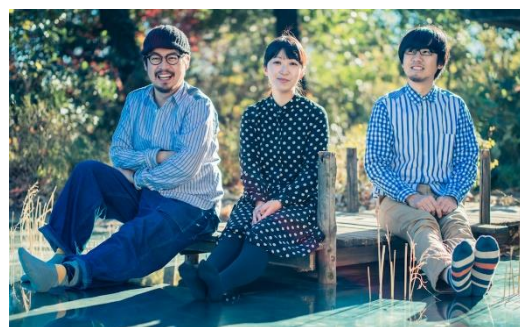


Photo : TakahiroTsusima

### ■これまでの作品

個展「たよらない現実、この世界の在りか」  
（資生堂ギャラリー、2014年）

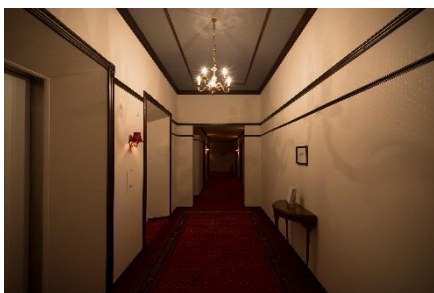


Photo : Ken KATO

「Elemental Detection」  
（さいたまトリエンナーレ 2016）



Photo : Natsumi Kinugasa

「まさゆめ」  
（Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13、2019-21年）



Photo : TakahiroTsusima

## SKY GALLERY EXHIBITION SERIES について

渋谷は文化を生み出す街であり、本施設はそんな街との循環によって、渋谷と共に成長してゆく「知的好奇心を育てる施設」を目指しています。そのためにも、本施設のキーメッセージである『展望せよ。渋谷、世界、自分、未来。』を軸に、渋谷で文化を生み出しているパートナーやアーティストとのコラボレーションを通じ、新たな気づきを誘発するカルチャーコンテンツを企画・実施しています。

なかでも 46 階屋内展望回廊「SKY GALLERY」にて定期的で開催する「SKY GALLERY EXHIBITION SERIES」は、「視点を広げる」を共通テーマに、アーティストが本施設を体験したインスピレーションから制作されたオリジナル作品を主軸に展開する本格的なエキシビションです。

今後も本施設は、「SKY GALLERY EXHIBITION SERIES」を通じて、渋谷最高峰の景色を眺めるだけにとどまらず、まだ見ぬ世界への興味を抱かせ、想像力を育てる体験を生み出します。

### ■これまでの SKY GALLERY EXHIBITION SERIES

<b>vol.1 EVEREST 都市と極地の高みへ</b>	<b>vol.2 FOCAL DISTANCE   焦点距離</b>
開催期間 2020年6月1日～8月31日	開催期間 2020年11月1日～2021年1月17日
<p>写真家石川直樹氏が自ら登り、撮影したエヴェレストの写真をもとに、SKY GALLERY の空間構成に沿って展示。当企画は、本施設の体験設計のベースとなっている通過儀礼や山登りの体験構造にフォーカスを当て、体験の類似性と異なるスケールを持った世界の可能性を“直感的”に示すことで、目に見える景色の先に世界はつながっているという事を示唆しています。</p>	<p>アーティストの岩崎貴宏による、観る者の視点に潜む焦点距離を変化させることに着眼した変貌する都市のポートレートの作品を展示。 作家自身が SHIBUYA SKY を体験したインスピレーションから制作されたオリジナル作品を主軸に展開。</p>
	
<b>vol.3 Everyone's sky 消えゆく風景への旅 by TRANSIT</b>	<b>vol.4 DOWN TO TOWN</b>
開催期間 2020年6月1日～8月31日	開催期間 2022年5月20日～7月24日
<p>2020年9月に TRANSIT から発行された「TRANSIT49号 美しく消えゆく世界への旅」の誌面企画から、“海 (Sea)・森 (Forest)・動物 (Animals)・眺望 (The View)”という4つのエリアに分けて再構成した写真／読み物パネルを &lt;SKY GALLERY&gt; 回廊内の壁面4箇所へ散りばめ、回遊しながら楽しめる空間展示としています。屋上から 360 度に広がる景色を体験した後、その先に広がる世界のさまざまな環境問題に目を向けるきっかけをつくります。</p>	<p>「DOWN TO TOWN」は、アートチーム「SIDE CORE」がキュレーションする、匿名アーティストグループ「EVERYDAY HOLIDAY SQUAD」による個展です。渋谷で一番高所に位置する SHIBUYA SKY 46階「SKY GALLERY」を展示会場とし、「望遠鏡を覗いて鑑賞すること」や「独自の視点で作られた地図を持って街を歩く」という行為を通じて、アーティストのアイデアに触れながら街を散策(down to town)し、街に対する新しい視点の獲得をうながしました。渋谷という街の中でこそ生まれる特別な体験を提供しました。</p>
	

## 「SHIBUYA SKY」について

### ■SHIBUYA SKY 概要

本施設は、14階～45階の移行空間「SKY GATE」、日本最大級の屋上展望空間「SKY STAGE」、46階の屋内展望回廊「SKY GALLERY」の3つのゾーンで構成されております。渋谷最高峰の地上約230mから広がる360度の景色を眺めるにとどまらず、一連の体験を通じて知的好奇心を刺激し、想像力を育む展望装置です。

名 称 : SHIBUYA SKY

フ ロ ア : 14階 (チケットカウンター)、45階・46階 (屋内展望施設)、屋上 (屋上展望空間)

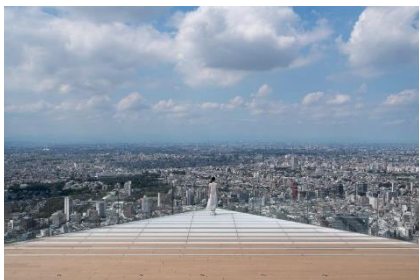
高 さ : 地上約230m

営業面積 : 屋上展望空間 約2,500㎡、屋内展望施設 約3,000㎡

営業時間 : 10:00～22:30 (最終入場 21:20) ※最新の営業時間は公式WEBサイトをご確認ください

休 館 日 : 年中無休 ※但し、臨時休館となる場合があります

公式WEBサイト : <https://www.shibuya-scramble-square.com/sky/>



### ■SHIBUYA SKY 入場チケット

(料金はすべて税込)

		WEBチケット (チケット予約)	窓口チケット (当日券のみ)
購入方法		公式WEBサイト	14階チケットカウンター
料 金	大人 (18才以上)	1,800円	2,000円
	中・高校生	1,400円	1,600円
	小学生	900円	1,000円
	幼児 (3～5才)	500円	600円
	3才未満	無料	無料

※再入場およびチケットの払い戻しはできません

※障がい者手帳をお持ちの方とその介助者 (1名まで) は半額となります。

ご来場時にチケットカウンターにて障がい者手帳をご提示ください

※当日の混雑状況により、チケットの購入、ご入場までに待ち時間が発生する場合があります

#### <WEBチケットの購入にあたっての注意事項>

※チケット購入サイト「webket」 (<https://webket.cpnw.jp/regist>) の会員登録が必要です

※支払方法は、クレジットカード払いおよびコンビニ払いのみです

#### <ご入場にあたってのお願い>

※SHIBUYA SKYは、地上約230mの屋上展望空間を有する施設です

※お客さまの安全確保のため、持込み禁止物や禁止行為のルールを定めています

※詳しくは、公式WEBサイト <https://www.shibuya-scramble-square.com/sky/ticket/#sec-note>

館内にて掲示している案内サインなどをご確認ください

※ルールをお守りいただけない場合、ご入場のお断りやご退場をお願いする場合があります

## ■年間パスポート「SHIBUYA SKY PASSPORT」

販売価格：5,400円（税込）

有効期限：ご購入日から1年間

- 購入手順：①アプリ型パスポートもしくはカード型パスポートどちらかを選択  
②アプリ型パスポートは渋谷スクランブルスクエアアプリにて、  
カード型パスポートは特設サイトにて、お客さま情報を事前登録  
③14階チケットカウンターにて顔写真を登録のうえご購入

特典：

- 1) 1年間何度でも入場可能
  - 2) 入場時の予約不要 ※1
  - 3) 同伴者1名さまのご入場料金が50%OFF ※2
  - 4) 渋谷スカイ内の3ショップにて割引&特典  
お土産ショップ<SHIBUYA SKY SOUVENIR SHOP>・カフェ&バー<Paradise Lounge>：お会計から10%OFF  
フォトサービス：写真をご購入いただいたお客さまに写真のデータをプレゼント
  - 5) 渋谷スクランブルスクエア ショップ&レストランのチケ得サービス（約30店舗参加）がいつでも利用可能
- ※1 混雑時はご入場までお待ちいただく可能性がございます  
※2 当日窓口チケットを半額にて販売します。また、各日、販売枚数に達した時点で終了となります

特設サイト：<https://www.shibuya-scramble-square.com/sky/passport>



▲SHIBUYA SKY PASSPORT  
告知ビジュアル

## ◇施設およびチケットに関するお問合せ先

SHIBUYA SKYお問い合わせ窓口 TEL：03-4221-0229（受付時間10:00～20:00）

### <安心・安全への取り組み>

#### ■施設としての取り組み

- ・従業員の勤務前の検温・健康チェックの実施
- ・従業員へのマスク着用と手洗い・手指消毒・うがい徹底の励行
- ・出入口にアルコール消毒液の設置、消毒液を用いた清掃の強化
- ・館内・バックゾーン各所に三密を避ける啓蒙サインやポスターなどの設置
- ・飲食店の対面座席廃止や客席の間引き、電子決済の推奨を実施
- ・お手洗い内のジェットタオル、一部の休憩スペースなどの利用を中止

#### ■お客さまへのお願い

- ・館内におけるお客さま同士、また従業員との一定の距離の確保をお願いします
- ・ご来館の際は、最少人数でのご来館、マスクの着用にご協力ください
- ・体調がすぐれない場合のご来館を見合わせてください
- ・混雑時におけるお客さま入館制限実施にご理解とご協力をお願いします

※詳しくは、公式ホームページや施設内にて掲示している案内サインでご確認ください。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、営業時間を変更している可能性がございます。  
最新の情報は、公式ホームページをご確認ください。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

## <渋谷スクランブルスクエア 概要>

名称：渋谷スクランブルスクエア／SHIBUYA SCRAMBLE SQUARE  
事業主体：東急(株)、東日本旅客鉄道(株)、東京地下鉄(株)  
所在：東京都渋谷区渋谷2丁目24番12号  
用途：事務所、店舗、展望施設、駐車場など  
延床面積：第Ⅰ期（東棟）約181,000㎡、第Ⅱ期（中央棟・西棟）約96,000㎡  
階数：第Ⅰ期（東棟）地上47階 地下7階、  
第Ⅱ期（中央棟）地上10階 地下2階、（西棟）地上13階 地下5階  
高さ：第Ⅰ期（東棟）約230m、第Ⅱ期（中央棟）約61m、（西棟）約76m  
設計者：渋谷駅周辺整備計画共同企業体  
※(株)日建設計、(株)東急設計コンサルタント、(株)JR 東日本建築設計、  
メトロ開発(株)  
デザイナー/行外：(株)日建設計、(株)隈研吾建築都市設計事務所、(有)SANAA 事務所  
運営会社：渋谷スクランブルスクエア(株)  
※東急(株)、東日本旅客鉄道(株)、東京地下鉄(株)の3社共同出資  
開業：第Ⅰ期（東棟）2019年11月1日  
第Ⅱ期（中央棟・西棟）2027年度  
URL：<https://www.shibuya-scramble-square.com>



▲渋谷スクランブルスクエア外観